

高各務原高校新聞

編集 生徒会執行部  
各務原市蘇原新生町2-63  
岐阜県立各務原高等学校  
印刷 浅野印刷株式会社  
羽島市吉川町西1-10

## 校訓の具現化について

校長  
杉原 整



ご卒業、おめでとうございます。卒業生の皆さん、各務原高校で過ごしたこの三年間を、本校の設立の理念から振り返りたいと思います。

様々な分野でグローバル化が進展する中、私達を取り巻く社会情勢は日々大きく変化しています。「グローバル人材育成」をキーワードに次世代を担う人材育成が高校の使命であることが、様々な場面で提言されています。各高等学校の特色と相まってグローバル人材の育成を推進めることが、高校教育の最重要課題と言えるでしょう。「グローバル人材」の要素は、「語学力・コミュニケーション能力」「チャレンジ精神・責任感」「日本人としてのアイデンティティ」と定義できます。りわけ「英語教育」では、英語を用いたコミュニケーション能力の向上が大きく期待されています。ここ各務原高等学校では、校訓『開拓者精神 創造(Creation)・挑戦(Challenge)・協同(Co-operation)』のもと、文武両道を標榜し、様々な活動に取り組んでいます。英語科を中心取り組む「語学力・コミュニケーション能力」の向上、部活動で培う「チャレンジ精神や責任感」、生徒会活動やホールーム活動等で、相手を思いやり共に向上来を目指す協同の精神は、「日本人としてのアイデンティティの育成」と言えます。この校訓の具現化こそが生徒一人一人に主体的

事にも全力で取り組みました。インターハイ予選では、弓道部(個人のインター)、タチハイ出場、ラグビー部の東海大会出場、サッカーチーム、剣道部の上位入賞など、輝かしい成果を収めました。囲碁部も男女とも東海大会に出場。大きな可能性を秘めた生徒の皆さんでありますことを示しました。「各務原らしさ」という言葉に象徴される誠実さとひたむきさ。伝統の力です。私達職員がすべきことは、生徒が活躍できる舞台づくりです。サッカーチーム・ラグビー部が何年も前から

進路指導も同じです。頑張る職員に頑張る生徒が応えました。頑張る生徒に心動かされた職員が前に進みました。平日補習や土曜講座、夏期補習や冬季補習へと充実していきました。個人からチームへと変わりました。頑張る仲間を支援する文化が、部活動から学習活動へとひろがりました。

3年目の今年、すべての教育活動を通して育てる力を明確にすること、アクティブラーニングが得意な各務原校生の力をさらに引き出すこと。

2年目 部活動の活躍はさりげなく見せました。伝統の部活動に加え、バスケットボール部やバレーボール部、ハンドボール部も県大会で活躍。吹奏楽部も十一年ぶりで県大会金賞を獲得。放送部も全国大会への切符をつかみました。書道部も学 校祭や大会で書道パフォーマンスを披露。理数科・英語科の生徒を中心 に、スピーチコンテストやディベイ トコンテスト、数学セミナー・国語 力セミナーで大活躍。中でも、サッ カー部が十一年ぶりに全国選手権に 出場しベスト16になつたことは、 窓心会やPTA等の皆様の支えがあつた からこそこの快挙でした。すべてが感 動と感謝に包まれました。

卒業生のみなさんへ  
うござります。各務原高等学校の3年間  
はどうでしたか。勉強・部活動・新  
生祭等の活動に精いっぱい頑張つて  
きたことと思います。  
皆さんは4月から新しい世界に飛び  
立つのです。ご高齢の皆様が1回の拉  
鉄道部後片付けは大変なことです。  
かつて、いた鉄支柱や展示ボードをか  
つて、いた間に運びます。生徒の皆  
さんは、関係者からいた感謝の言葉を力に変えます。

教頭炭竈由彦





今だから出来ることは、必ずあります。自らの「内なる声」に耳を傾け、貪欲になつて下さい。たとえそれでも、それは価値のある遠回りです。その経験の一つひとつが、これから的人生の局面で直観や閃きとなり、きっとあなたを助けてくれます。迷つたら、挑戦してみる勇気をもつてください。

皆さんにこれからも笑顔で人生を歩んでいきます。今まで本当にあります。今まで本当にあります。



信頼

担任  
吉長 大介

直ぐな道を歩めないことになつて、そこから出ることは、必ずあります。自らの「内なる声」に耳を傾け、貪欲になつて下さい。たとえそれでも、それは価値のある遠回りです。その経験の一つひとつが、これから的人生の局面で直観や閃きとなり、きっとあなたを助けてくれます。迷つたら、挑戦してみる勇気をもつてください。

皆さんにこれからも笑顔で人生を歩んでいきます。今まで本当にあります。今まで本当にあります。

卒業生の皆さんと初めて出会つてから、もう二年も経つたのかと驚いています。授業内外で、皆さん一人一人の良さを見つけ、たくさんのお話ができました。高校生活は中学校とは違い、一段と大人に近づいていく中で、理想と現実の差に戸惑つたり、思うように事が進までしまつたとき、困ったとき、辛い思いをしたときに頼ることができるのは、本当に頼ることを気にかけ、配慮してくださる周りの人です。人と人との繋がりは、何にも代えがたいもので、誰かが困難を抱えているとき、傍で支えられる人になつてください。そうすれば、いつか自分も周りに信頼されるような人間になつていいきます。

名残惜しいですが、時間は待つてくれません。いつの日か、一回り成長された皆さんと再会できる日を心待ちにしています。卒業おめでとう。今までありがと

三年三組

三年二組

三年五組

三年六組

三年八組

三年七組

三年四組

三年一組

一人一人の個性がとても強く自分を持つていて3年2組。そのため、1つの物を造り上げたりする時などに、時に衝突することもありました。しかし、話し合いをして3年2組の持ち味である明るさで乗り越えてきました。人任せにしてしまう部分が、3年2組の弱さでもありました。自分が決めたMOTTOを守ることでできました。高校生最後の一年間はどのように取り組む姿は、3年間同じ仲もさらによくなりました。

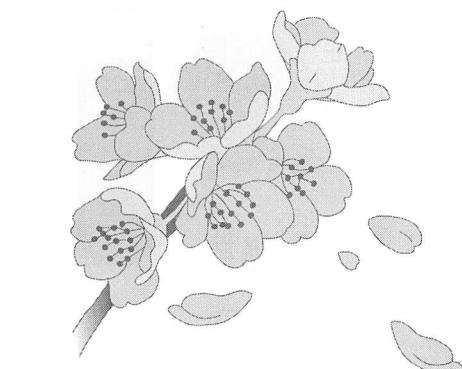
三年生最後の一年間はどうの行事も思い入れがあり、充実した一年間を過ごせました。ありがとうございました。

私達三年五組はどちらかと言えば大人しい子達ばかりでしたが、行事などは男女ともにとても協力的で安定感のあるクラスでした。文化祭ではみんな一人一人が考えてこうした方がいいのではないかと改善案を出し、自分の仕事ではないかも積極的に協力していく、クラスの仲もさらによくなりました。

三年生最後の一年間はどうの行事も思い入れがあり、充実した一年間を過ごせました。ありがとうございました。

このクラスは、仲良くも悪くも、個性豊かで、主張が強い人達で構成されています。そんなまとまりのないクラスを1年間まとめてくれたのは、二人のH.R委員でした。彼らは常にクラスを盛り上げようと努力してくれました。特に文化祭では、毎日休暇を中心順調に準備を進めて、本番当日には全て練習通りに事が運び、大成功を収めることができました。三年三組は、彼らおかげで楽しい一年です。

六年生最後の一年間はどうの行事も思い入れがあり、充実した一年間を過ごせました。ありがとうございました。



## 編集後記

厳しい冬の寒さも和らぎ、太陽の光は輝きを増し、皆さんの旅立ちを祝福しているかのようです。御卒業おめでとうございます。本校での三年間はいかがでしたか。この各務原高校新聞卒業特集を読み、先生方や級友と過ごした懐かしい日々を思い起こして下さい。

機会があれば、学校に来ていた

だき近況をお聞かせ下さい。

みなさまのご健勝と新天地でのご活躍を心よりお祈りしています。

